



落ち着いた雰囲気の中行われた初点式



なごやかな雰囲気の初茶会

初春の一服を

1月11日、裏千家淡交会伊達支部（支部長奥村孝善さん）主催の初点式が行われ、菊谷市長を始め関係者が出席しました。

これは、毎年床の間に飾られた利休像に初春の一服を差し上げ、無病息災などを祈りながらお参りするもので、床の間には世の中が丸くいいことが長く続くように「結び柳」も飾られています。

その後、しつらえを変えて行われた今年の初茶会は岡田社中が務め、会員や市民などが約200名参席。柔らかな緊張感の中、初釜ならではの「花びら餅」とともに、お茶を楽しんでいました。

新春みんなで百人一首

1月17日、武道館で「新春みんなで百人一首」が開催されました。

これは、お正月の風物詩である百人一首をとおして、子どもから大人まで幅広い年代の交流を図ることを目的に開催されているもので、今年は14チーム48人が参加。

北海道独特の「下の句を読んで、下の句の札を取る」というルールのもと、真剣な表情で木札を取り合いました。



熱戦が繰り広げられました

行進の様子



火災発生ゼロを目指して 伊達消防出初式

1月9日、カルチャーセンターで伊達消防出初式が行われ、伊達消防署員や団員など173人が参加しました。

これは、消防署員や団員の士気を高めることや消防団に対する信頼や理解を深めてもらうために毎年開催しているものです。

この日は、冷たい風が吹きつける中、団員らによる行進が行われたほか、屋内会場では昨年の消防団の活動などをスライドで紹介しました。

オリンピック金メダリストが直接指導

1月16日～17日、大滝総合運動公園でクロスカン トリースキーのスケータング技術講習会が開催さ れ、道内外から28人が参加しました。

リレハンメルオリンピック金メダリストの阿部雅 司さんと指導員の島田武彦さんを講師に招き、ス ピードアップにつながる技術トレーニングを実践。

その後、参加者全員で2月に開催される「おた き国際スキーマラソン」のコースを実際に試走しな がら、攻略法についてアドバイスを受けていました。



阿部さんのアドバイスを熱心に聞く参加者

子雀さんも踊ります



お正月らしさに皆さん大喜び

1月10日、潮香園にボランティアの皆さんが訪れ、入居者の皆さんを喜ばせました。

笛と琴の和三盆は正月ならではの「春の海」など 3曲を披露。その後若柳流師範の古屋さんによる日 舞、すずめ踊り、伊達武者太鼓が披露されました。

入居者の皆さんは、和三盆の奏でる「ふるさと」 に合わせて口ずさんだり、太鼓の体験では「気持ち いい」と喜びながらバチをふるう場面も。

新春の催しを元気に楽しんだ様子でした。



新春恒例 小中学生書き初め大会

1月7日、カルチャーセンターで伊達市教育研究会が主催する「第43 回伊達市小中学生書き初め大会」が開催され、市内の小中学生113人が参加しました。

学年ごとに与えられた課題の文字 を制限時間内に5枚の画仙紙に清書 し、そのうちの1枚を提出します。

審査委員長の高橋さんから「墨を つけすぎると文字の勢いが失われて しまう。墨のつけすぎに注意して、 紙面いっぱい書いてください」と のアドバイスがあり、見本をじっくり見ながら、集中して筆をはしらせ る子どもたちの姿が見られました。



会場の様子

一筆一筆に力が入ります